

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成30年7月23日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 城陽市長 奥田 敏晴
環境マネジメントシステムの名称	市独自環境マネジメントシステム（J-EMS）	
適用範囲	市が直接管理する全施設	
導入年月日	平成24年4月1日	
認証番号		
基本方針	別添①「環境方針」のとおり	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①エコプランの推進 温室効果ガス排出量 平成13年度比12.0%削減 ②各所属の環境配慮事業の推進 事業等における環境配慮活動 9項目	
目標を達成するための取組の内容	①エコプランの推進 第3期エコプラン推進手順書に基づいた取り組みを実施した。 ②各所属ごとに設定 実施計画に基づき取り組みを行った。	
目標を達成するための取組の進捗状況	①第3期エコプランの推進 温室効果ガス排出量 6,271t-CO2（平成13年度比1.7%増加） （参考排出量）4,902t-CO2（平成13年度比20.5%削減） ※参考排出量・・・基準年度以降固定している温室効果ガス排出係数を用いて算出した排出量 ②各所属ごとに設定 各事業ごとに進捗を管理。実施計画に基づき実施した。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①第3期エコプラン推進手順書に基づき省エネ推進活動に取り組んだ。温室効果ガス排出量は電気排出係数の増加に伴い目標を達成できなかったが、エネルギー使用量自体は一部燃料を除き削減できており、省エネ活動を継続して推進できていると考える。 ②事業等における環境配慮活動5項目（全9項目）について目標を達成した。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について、年2回遵守評価を実施した。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>（システム全体について） 平成29年度は、J-EMSを運用してから6年目となり、様々な取り組みが浸透しつつある中で、確実に環境保全活動を推進されていると評価された。</p> <p>（具体的指示事項について） 平成30年度から開始される第2次城陽市環境基本計画、第4期エコプランに即したJ-EMSに改訂すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理等施設をエコプランの対象施設に含め、エネルギー管理を行うこと ・「クールチョイス・城陽」の取組を進めること ・環境監査がスムーズに実施できるような方策を検討すること ・自覚研修の実施方法について検討すること ・引き続き、環境への負荷を低減する活動を継続的に実施すること ・環境法令の順守を徹底すること 	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。